



# AXIA EXPO 2024

# スマートファクトリー Japan 2024 愛知

アイチ・スカイ・エキスポ

## きょう開幕

PR

スマートシティ実現のための技術が集まる「AXIA EXPO 2024」が、5日から7日まで、中部国際空港（愛知県常滑市）直結のアイチ・スカイ・エキスポで開かれる。主催はAXIA EXPO実行委員会。入場料は1000円（入場登録者、招待状持参者、中学生以下は無料）。入場登録は公式ウェブサイトで行える。開場は10時から17時まで。また、日刊工業新聞社主催のスマートファクトリーに関する展示会「スマートファクトリーJapan 2024 愛知」も同時開催される。

## スマートシティ 実現への技術集結

「AXIA EXPO」は今回が初開催。「水素・アンモニア次世代エネルギー展」「次世代通信Tech」「GXイノベーション」の3展で構成される。水素・アンモニア次世代エネルギー展は「酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を排出しない、究極のエネルギーである水素・アンモニアを中心に、世界中が注目する次世代エネルギーに関する技術・製品がそろそろ。水素・アンモニアに関する取り組みも紹介される。

次世代通信Techでは、第6世代通信（6G）の実装に向けた技術や、5G・6Gを活用したサービスなどが披露されるほか、通信技術によるインフラ整備や街づくりなどが提案される。

GXイノベーション展には、2050年のカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）達成が求められる中で注目が高まっている再生可能エネルギーや脱炭素技術など、グリーン・ト

ラ JAXA探査機スケールモデル展示エリア



ラ JAXA探査機スケールモデル展示エリア

ンスフォーメーション（GX）に関連するソリューションが集まる。AXIA EXPOは多彩な併催プログラムも見どころだ。5日10時半からは「水素の社会実装における課題と今後の展望（先進自治体パネルディスカッション）」が行われる。愛知県産業部産業科学技術課水素社会実装推進室の都筑秀典室長、山梨県企業局新エネルギーシステム推進課の宮崎和也課長、福島県商工労働部次世代産業課の加島優課長が登壇する。

6日13時からは「グリーンイノベーション基金で目指す、カーボンニュートラルな未来へ。」と題して、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）グリーンイノベーション基金事業統括室の廣瀬大也室長が講演を行う。エネルギー・産業部門の構造転換や大胆な投資によるイノベーションの促進を目指し、野心的な目標にコミットする企業などに対して、研究開発・実証から社会実装まで最長10年間の継続的な支援を行う、グリーンイノベーション基金事業の取り組みを紹介する。

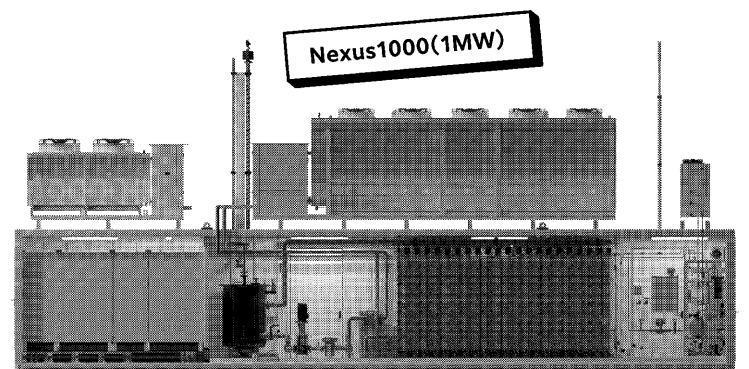
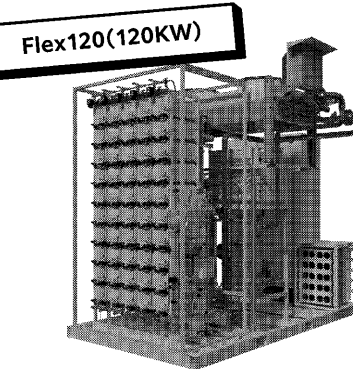
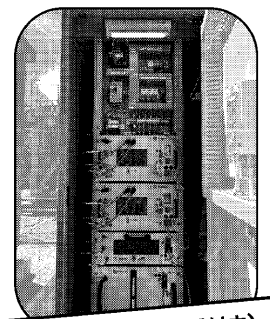
## 革新的なグリーン水素製造技術



AXIA EXPO 2024  
小間番号  
H-06

三國機械工業はEnapter社のAEM水電解装置を提案いたします。

◆PEM方式より低コスト ◆99.999%水素生成 ◆1Nm<sup>3</sup>/h~MW級のラインナップ



水素生成量: 1Nm<sup>3</sup>/h(2kg/day)

水素生成量: 25Nm<sup>3</sup>/h(53kg/day)

水素生成量: 210Nm<sup>3</sup>/h(450kg/day)



三國機械工業株式会社

本社: 〒130-0026 東京都墨田区両国三丁目19番11号 TEL: 03-5624-6392 www.mikunikikai.co.jp



Enapter

# 高専教育の最新紹介

近年、多くのモノづくり企業が技術力、発想力、思考力、実行力などの面で高等専門学校（高専）の学生に注目している。6日14時半から、人材育成研究会「高専教育の今、相互理解を深めよう in 中部」が開かれる。高専教育を主導する国立高専機構の理事長特別補佐のほか、沼津工業高専、豊田工業高専、鈴鹿工業高専の准教授らもスピーカーに迎え、「令和時代のエン지니어の育て方」「新型コロナウイルスや能登半島地震発生時などリスク対応」の2テーマを糸口に、最新の高専教育を紹介する。

また主催者企画として「JAXA探査機スケールモデル展示エリア」が設けられる。世界初の小惑星からのサンプルリターンに成



展示会の詳細確認・入場登録はこちらから

## 「はやぶさ2」模型展示

功した探査機「はやぶさ2」の実物大模型たけとよモデルと、火星衛星探査計画（MMX）にて26年度の打ち上げで世界初の火星衛星サンプルリターンを予定している「MMX探査機」の2分の1スケールモデルが展示される。

同展内では愛知県主催の「新あいち創造研究開発展」も行われる。約80社・団体が新あいち創造研究開発補助金を活用して取り組んだ研究開発や実証実験の成果を紹介する。

AXIA EXPOは6月14日までオンライン会場も設けられ、出展社のオンラインブースが用意されるほか、ウェビナーも開かれる。

## スマートファクトリー

### 愛知県で初開催

会期中、「スマートファクトリーJapan 2024 愛知」も同時開催される。スマートファクトリーJapanは過去に東京で行われてきたが、今回初めて愛知県で開催される。

スマートファクトリー化は製造業のデジタル変革（DX）を推進する上で重要な要素となる。同展にはスマートファクトリーを実現するために欠かすことのできない情報管理・処理システムや製造設備・装置などが集まる。



「スマートファクトリーJapan 2024 愛知」にはスマートファクトリー実現のためのシステムや設備、装置が集まる（24年2月の東京開催）

# AXIA EXPO 2024

## 水素・アンモニア次世代エネルギー展

小間番号：H-04に出展します

会社HPはこちら



大型液化



素タンク

液化



O<sub>2</sub>タンク



ンモニアタンク

ANTION FOR NEXT ENERGY  
未来のエネルギーを支えるチカラになる

トヨカネツ株式会社

東京都江東区南砂 2-11-1

## 水素・アンモニア次世代エネルギー展

### 三國機械工業

三國機械工業は画期的なAニオン交換膜（AEM）水電解装置を、顧客が求める仕様に合わせて設計・エンジニアリングし、最適なシステムとして提供する。プロトン交換膜（PEM）による水電解と同等以上の性能でありながら低コストを実現した。小型なAEMスタックモジュールを積層することで水素発生量を増やせるため、大型の水素製造装置で一つのスタックが故障しても装置全体の動きが止まることがない。

7日11時半からは「AEM水電解は革新的なグリーン水素製造装置」と題し、出展者セミナーを行う。

東京都清瀬市に1時間当たり1立方メートルの水素を生成するデモ機を持ち、見学も可能。

### トヨカネツ

トヨカネツは1941年の創業以来、世界各国に大型貯蔵タンク・極低温貯蔵タンクを納入し、エネルギーインフラ貯蔵に寄与している。高いプロジェクト遂行力とメンテナンス技術を強みに、新工法や新素材を取り入れながら常に挑戦を継続。昨今は環境負荷の低い次世代エネルギーへの転換需要に 대응べく、燃料アンモニアやメチルシクロヘキサン（MCH）、液化CO<sub>2</sub>などの貯蔵ニーズへの対応や、大型液化水素タンクの建設技術獲得に向けた研究開発を推進している。

展示会ではタンクの専業メーカーとして大型液化水素タンクの開発や実用化、液化CO<sub>2</sub>タンクやアンモニア貯蔵タンクの大規模化のための取り組みについて、展示、解説する。

出展企業の製品・技術 順不同